

本指導案は、「2016年度 横浜美術館コレクションを活用した授業のための中学校・美術館合同研究会」において横浜市中学校の教員と横浜美術館が協働で作成しました。

## 横浜美術館コレクションを活用した鑑賞授業

# 美術科学習指導案

### 1. 題材名

## 「たらしこみ」って何？

### 2. 題材作品

下村観山作《小倉山》 1909年（明治42） 絹本着色、六曲屏風一双  
各 157.0×333.5 cm 横浜美術館蔵

### 3. 実施学年

第2・3学年

### 4. 学習指導要領との関連

A表現（2）イ / B鑑賞（1）ア、ウ

### 5. 本題材について

本題材で取り上げる下村観山作《小倉山》を、生徒が自分なりの価値意識を持って鑑賞し理解を深めるために、作品で使われている日本の伝統的な技法「たらしこみ」に注目する。墨のにじみの効果を活用し、量感や立体感を出す「たらしこみ」を実際に体験してみることで、その表現効果を考えたり、作家の意図を探らせたりして、生徒自らが作品をじっくりと見る行為を引き出したい。

### 6. 題材目標

《小倉山》に描かれている季節感のある自然の美しさには、独特の構図、数々の技法が凝らされているが、中でも琳派に多く用いられた日本画の伝統技法「たらしこみ」を追体験してみる。この体験によって創意工夫が裏打ちする表現の可能性を感じ取り、同時に日本画というジャンルへの関心を高める。

### 7. 題材の評価規準

美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	鑑賞の能力
にじみやぼかしを創造的に使った下村観山の作品と表現方法に関心を持ち、実際に「たらしこみ」を体験しながら作品についての理解や見方を深め、自身と美術とのかかわりや関心を深めようとしている。	たらしこみの（形や色彩などの）効果による表現の分かりやすさや美しさを考えて、自身の表現の構想を練っている。	対象作品に取り入れられている自然のよさ、造形美を感じ取り、自分なりの価値意識を頼りに見方や感じ方を深めている。

## 8. 準備

指導者：作品図版（大きいサイズ）、<sup>どうさ</sup> 礬水紙（礬水引有りの紙）と<sup>きがみ</sup> 生紙（礬水引無しの紙）（生徒全員分）、  
ワークシート（生徒全員分）、<sup>みょうばん</sup> 明礬、絵具道具一式、  
※礬水紙と生紙は、一般の画材店（世界堂など）で販売しています。

生徒：絵具道具一式、筆記用具

## 9. 授業展開（概ね1.5時間）

	学習活動	指導内容および留意点
導入 10分	① 絵具の基本的な使い方である平塗を、サンプルを使って見てみる。生徒はサンプルを見ながら理解する。	・平塗のサンプルを見せ（または実演し）、基本的な注意点などを示し、斑（むら）による表現と比較・対照させる。
展開 (1) 15分	② 生徒が個々に、自分の好きな色の組み合わせ（2色程度）と水分を調節し、にじみやぼかしを実際に体験する。1枚ではバリエーションが少ないので、乾燥時間のことも考え大小数枚の紙に描く。	・生紙（礬水引きしていない紙）で、サイズの異なるものを数枚用意し、にじみやぼかしを体験させる。描き味を發表させる。
展開 (2) 20分	③ にじみやぼかしはコントロールが効くのか試させる。礬水(どうさ)とは何かを説明、現物を見る。	・礬水紙（礬水引き有りの紙）を与え、もう一度にじみやぼかしを体験させる。生紙と描き味が違うことに気づかせる。 ・伝統技法であるにじみ止めの工夫を説明し、礬水を明礬や膠水（にかわすい）の現物を見せて理解を深めさせる。明礬は日々の生活の中でも、染料の定着や料理などに活用されていることを伝える。
展開 (3) 20分	④ 「たらしこみ」が使われている場所のクローズアップ画像を見せる。自分の作品と比較・対照してみる。生徒の感想や気づきを聞いてみる。	・斑の効果を確認させる。 ・コントロールされたにじみやぼかしの現象を生かした技法「たらしこみ」が存在することを、拡大した画面で解説する。 ・作家が「たらしこみ」を入念にコントロールし、形として表現している点を気づかせる。

展開 (4) 10 分	⑤ 乾燥の時間を見通し、ここで《小倉山》の図版全体像を見て、描かれているモチーフと印象を語らせ、クラスで共有する。	・《小倉山》の全体図版を提示して、描かれているモチーフについての発見や印象をワークシートに書き込ませる。 右隻、左隻の関係も含めた全体の見え方についても考えさせ、自分なりの視点を大事にさせる言葉かけをし、記述を促す。
まとめ 15 分	⑥ 絵の全体像と部分、使われている技法や表現など心に残ったことを記入する。	・技法の追体験を通して作家の創意工夫を汲み取り、鑑賞を深めさせる。
	⑦ 《小倉山》は、横浜美術館のコレクション展で本物を鑑賞することができることを知る。	・《小倉山》のオリジナルを鑑賞しようとする意識を高め、オリジナルの前に立つことに関心を持つように情報を提供する。

(指導案作成：横浜市立中学校教諭 渡邊 淳／山田香織／園谷 唯)

#### ■指導案作成者からのメッセージ

罌水紙（罌水引有りの紙）と生紙（罌水引無しの紙）2種類の紙を確実に用意して、実践なさってみてください。

#### ■参考文献

- ・『横浜美術館コレクション選』横浜美術館、2014年
- ・展覧会カタログ『生誕140年記念 下村観山展』横浜美術館、2013年
- ・山田芳裕『へうげもの22』モーニング、2016年
- ・松井今朝子『料理通異聞』幻冬舎、2016年